

西京

2025年秋 第44号

としょかんだよい for teens

奏でる

スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋…。様々な取り組みに挑戦しやすい秋ですが、皆さんはどんな風に過ごしていますか？

今回は「奏でる」をテーマにした本を紹介します。活動しやすい気候の秋に、ぜひ一冊手に取ってもらえると嬉しいです。



『トーキングドラム 心ゆさぶるわたしたちのリズム』

(佐藤 まどか／著 PHP 研究所)

主人公の方希奈は、勉強一筋の兄とアイドル志望の弟にはさまれ、毎日のように彼らの大喧嘩に振り回されている。さらに不仲の両親のやり取りをみてウンザリし、家の中に自分の居場所がみつけれず、学校が終わると「放課後子ども教室」で過ごす日々を送っていた。しかしある出来事をきっかけに、仲間とともに本格的な楽器作りをすることになり、それを用いたストリートパフォーマンスに挑戦していくことになるのだが…。アフリカ発祥の打楽器奏法・トーキングドラムがつなぐ、友情と青春バンドストーリー。

『四重奏デイズ』(横田 明子／作 岩崎書店)

主人公のタカはピアノ男子。だけど近頃は楽しさを感じなくなってきて練習にも身が入らない。タカの友人たちはそれぞれの志をもって自分のやりたいことに向かって進んでいるのに…。同じピアノ教室に通うマイちゃんはプロを目指してコンクールのために猛練習。タカはどんな風にピアノに向かっていけばいいのかわからなくなってしまっていた。そんなとき、発表会で手ごたえを感じたタカは、もう少しピアノを弾いてみたいと思い始め、合唱コンクールのピアノ伴奏を引き受けることに。やりたいことを見つける楽しさと難しさに気づきはじめた少年少女たちの友情と成長の物語。





『消えたヴァイオリン』(スザンヌ・ダンラップ／著、西本 かのる／訳 小学館)

その事件が起きたのは、クリスマスイブの夜。父親が誰かに殺されてしまい、ショックを受けた主人公のテレジアは、父親の愛用していたヴァイオリンがなくなったことに気がつきます。妊娠中の母親とまだ幼い弟との生活を気かけながらも、どうしても父親の死の真相を知りたくなったテレジアは真実を追い求めることに。勇気ある少女の周囲に響き渡る、美しくも恐ろしい旋律が聞こえてきそうな一冊です。

『言葉の園のお菓子番 I 見えない花』(ほしお さなえ／著 大和書房)

皆さんは「連句」をご存知ですか？ 連句とは、5・7・5の長句と7・7の短句をくり返しながらか、前の句に新しい句をつなげていく文芸です。主人公の一葉は働いていた書店が閉店して職を失い落ち込んでいましたが、亡くなったおばあちゃんを通して連句の会と出会い、新しい人とのつながりを見出します。「一等賞を目指さなくていい」という言葉のとおり、連句の魅力はみんなで集まって作ること。連なる言葉たちの調べが優しく奏でられる物語です。



『ハートソング 作曲家アントニオ・ヴィヴァルディとある少女の物語』

(ケビン・クロスリー＝ホランド／文、ジェーン・レイ／絵、小島 希里／訳 BL出版)
舞台となるのは18世紀のイタリアの街・ヴェネツィア。話すことができない少女・ラウラは孤児たちと一緒に養育院で育ちました。ラウラはある日、アントニオ神父にリコーダーを渡され、音楽隊で演奏するための練習を始めます。ヴァイオリン協奏曲「四季」などで有名な作曲家のアントニオ・ヴィヴァルディが、実際に司祭として音楽教師をしていたピエタ養育院の記録に着想を得たフィクションの物語です。

最近入った新しい本

タイトル	編著者	出版社
ゼロからの読書教室	読書猿／著、北澤 平祐／絵	NHK 出版
中高生のための新書のすすめ	岩波ジュニア新書編集部／編	岩波書店
リセッTLルーム	はやみね かのる／著、しきみ／画	朝日新聞出版

京都市西京図書館

〒615-8236
京都市西京区山田大吉見町20-3
電話(075)392-5558 FAX(075)381-8901

- 開館時間 平日 :午前9時30分～午後7時
土曜・日曜・祝日:午前9時30分～午後5時
■休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の時はその翌平日)
年末・年始



西京図書館公式キャラクター
“がやっち”

